

策回

なる書評をもちへ

誓約書を粉砕するに！！

一七日付之反動斎藤学部長・古館羽志野運営委員長・栗津学監
 他各学科主任名をもちへ保護者あてに復向状（授業を受ける意欲
 があるのか？）が郵送された。これは全く斗争左殺・良心も持たず
 の分断攻撃に他ならない。且斗争が提起した「大学とは」「学向とは」の向
 け付けを培えられなくなった大学側（教授会）がすべてこの疑問・齟齬を陰に
 した形で単に現象面的にのみ「斗争」といって「我々は勉勵する
 気があるのか」とする気のない者は大学も去れ、なにもいっさいにも南無
 直心。我々斗争の学友が最も真の学向を目指しているからして、
 古田体制下の授業最も齟齬した学向（？）を受けるのを拒否するの
 といつことも見なぐとせず、真つた方向付けを受けしめることができな
 いのであり対応ができなくなった彼らは斗争左殺者としてしか言
 明する事ができないのである。これが日本で教授（教育者）といわれ
 ているゴキブリの本質を再度怒りもちて確認しなくてはならない。
 同様に一般学生（工団集団）——日本に於いて一般学生はありえないのである
 且斗争が一方学生の全人民的欲求である限り——諸君についても言
 う斗争の学友が提起した真の学向を獲得する為には古田体制下の齟
 齬・正学向を徹底的に破壊し、その齟肉をも残しては真の学向を構
 築することはできないから。一方の齟肉を残した状態で齟向を構築し
 ようとするは必然的に齟敗してゆかざるを得ない（破壊の思想）に對
 する事ができなくなり、たゞこれにも古田体制下にもどりのめ
 に終い、あんなに^故構構ができるは、といっている。これは「泥水で洗濯
 する」と全く同様の論理である。こゝはつた低い次元の論理しか持
 てない。彼らは反革命分子としてしか存在しえないのである。

日本斗争勝利・生産方式粉

◇ 個は全体の個ならず、全体は個の全体ならず